

第1回 鹿児島港をモデル港とした
九州管内港湾における中長期ビジョンに関する勉強会
議事概要

日時：令和4年12月21日(水)10:00~12:00
場所：TKP ガーデンシティ鹿児島中央(薩摩ホール 3F)

【主な議事内容】

1) 港湾の高度化や維持管理について

- 臨港道路(鴨池中央港区線)の完成後に、与次郎を通る臨港道路(与次郎ヶ浜線)が渋滞しないか懸念している。
- 谷山一区、二区から幹線道路に出るまでのアクセスや渋滞が問題。大型船が入るので、構造的に難しいと思うが、谷山一区、二区の臨港道路が直線的に繋がるとありがたい。
- 名瀬港向け RORO 船に積む貨物が谷山から新港区に向かう際、渋滞に巻き込まれることが多い。
- 鹿児島県の人口減少を食い止めるためには、新規企業立地が重要だと感じた。鹿児島港は新規企業の立地を見込める用地が不足しているため対策に期待したい。
- 用地が不足しており、野積み場のヤード確保が難しい。
- 新港区に新しい上屋を作ってもらったところではあるが、他の上屋の老朽化も対策が必要ではないか。
- 放置艇やプレジャーボート等の係留については、利用調整や持続可能な係留のあり方をどうしていくか検討する必要がある。
- マリンポート大橋が2車線しかないため、クルーズ船乗客がバスなどで移動する際、交差点付近に渋滞が発生することが多く、対策が必要と思われる。
- これまでの渋滞データをもとに、デジタル技術を活用して交通の流れを上手くコントロールできる方法はないのか。

2) 勉強会の進め方について

- ポータルネッサンス等、過去に検討された内容の検証も含めて、鹿児島港について議論すべきである。
- 今後、課題からビジョンをとりまとめるにあたっては、人流・物流の拠点としての本来の港湾機能と、交流・にぎわい、まちづくりの拠点機能の2つの視点に留意して頂きたい。

(以上)

○概ね20～30年先を見据え、九州管内港湾において今後必要と想定される港湾の機能・役割に対応するための方針・施策等を整理することを目的に、「鹿児島港をモデルとした九州管内港湾における中長期ビジョンに関する勉強会」を設置し、港湾利用者や行政関係者等による意見交換を行った。

○第1回勉強会を12月21日に開催し、事務局より鹿児島港の現況・課題等を説明した後、各構成員から港湾利用上の問題点やニーズについて意見を頂いた。令和4年度末までに計3回開催する予定。



勉強会の様子



鹿児島港運協会
事務局長



ゆめみなと鹿児島
副理事長



鹿児島経済同友会
事務局長



鹿児島県倉庫協会
事務局長



鹿児島県旅客船協会
事務局長



鹿児島商工会議所
事務局長

議事次第

日時: 令和4年12月21日(水) 10:00～12:00

場所: TKPガーデンシティ鹿児島中央

1. 開会
2. 議事
 - (1) 勉強会の進め方について
 - (2) 鹿児島港の現況・課題について
 - 1) 鹿児島港の現況
 - 2) 鹿児島港の課題
- (3) 意見交換
3. 閉会

構成員一覧 (敬称略、順不同)

企業・団体名	
企業・団体	NPO法人 ゆめみなと鹿児島
	鹿児島経済同友会
	鹿児島港運協会
	鹿児島県倉庫協会
	鹿児島県旅客船協会
	鹿児島商工会議所
行政	鹿児島県
	鹿児島市
	(事務局) 九州地方整備局 鹿児島港湾・空港整備事務所

(事務局)九州地方整備局 港湾空港部 港湾計画課

勉強会で頂いた意見の一例

- ・ 沿岸部の臨港道路網の充実に期待。
- ・ 新規企業の立地を見込める用地不足を課題として取り上げていただきありがたい。
- ・ 岸壁や上屋の老朽化も対策が必要ではないか。